

産業都市常任委員会懇談会報告書

1 開催日時 平成28年12月2日（金）14時から

2 会場 市役所4階第2委員会室

3 テーマ 八千代市建設業協会の活動内容について

4 参加者

(1) 八千代市建設業協会

会長、副会長3名、理事8名、土木委員長、相談役

(2) 八千代市議会産業都市常任委員会

委員長	松崎寛文	副委員長	大塚裕介
委員	江野澤隆之	委員	菅野文男
委員	成田忠志	委員	原弘志
委員	緑川利行		

5 開催の趣旨

本委員会は平成27年度より、専門性の向上を図るため、所管部分に係る諸団体との懇談会を開催しているが、平成28年度については、都市整備部門の分野に的を絞り、今後の委員会活動に生かすべく、公共インフラの整備や災害対応等に取り組む、八千代市建設業協会との懇談会を開催した。

6 懇談会の経過

初めに、本懇談会は参加者による自己紹介を行い、次に、八千代市建設業協会会長よりテーマについて説明を受け、その後意見交換という流れで進められた。

まず、意見交換で話題に挙がったのが、競争入札制度についてである。本市では、平成28年度に入札制度の一部改正が行われた。主な改正点は、建設工事等の入札に係る予定価格等を事前公表から事後公表としたこと。最低制限価格の適用範囲の拡大を行うため、設定対象を予定価格3,000万円以上から1,000万円以上に拡大したことである。

これらの改正点に関連し、特に声が多かったものが、市内業者への優先発注についてである。建設工事等では、ライフラインを守ること、災害時の緊急対応を含めた安全確保や日々のメンテナンスが重要であるため、市内業者を優先した制度の検討を進めてほしいとの意見があった。委員からも、市内業者に配慮した入札制度については、今後も様々な意見を聞き、研究したいとの発言があった。

次に、10年後20年後を見据えた八千代市のまちづくりについて、八千代市建設業協会より、専門的見地からの意見を伺った。

それに対し、道路事情の問題、中でも交通渋滞の話題が挙がり、その原因の一つが、バス停であるとの意見が出た。例えば、バス停を路肩に1メートル寄せるだけでも、その脇から後続車が通過でき、交通渋滞も防げるといふ。他に、道路の拡幅等の方法も考えられるが、いずれにしてもバス会社との関係等、クリアすべき課題は多くあるとのことであった。

その他、道路はまちの顔でもあるので、何か魅力あるポイントが作れたらとの意見や、道路維持のため、日々のメンテナンスが欠かせないといった意見を頂いた。

7 懇談会を終えて

今回の懇談会では、入札制度の変更点からまちづくりへの提言など、幅広い観点から意見交換を行うことができた。本懇談会で頂いた意見を参考にし、今後の活動に生かしたい。

